



マーシャルから Iakwe

第5号

Iakwe(こんにちは)

前回は、ローラ小学校の1日について紹介しました。では、現地の学校で小学校教育隊員として私がどんな活動をしているのか今回紹介してきたいと思います。

ローラ小学校で半年活動をしてみて「基礎的な計算ができない」「講義型の授業(説明で1時間の授業が終わってしまう)」「必要な単元を教えられていない」といった課題を感じました。

学校を途中でドロップアウトしたり、教員が学校に来なかったりと課題の背景には様々な要因があります。そのような背景も含め、「児童、教員も楽しい、できたと感じられる数学的活動を取り入れた授業改善」を目標として活動を行うことに決めました。

様々な背景

イベント(クリスマス、葬式、ケーメン)、停電や水不足

先生が学校に来ない、教育への関心の低さ、出席率

児童がドロップアウトしてしまう、教室が足りず学校に来れない

基礎的な計算
ができない
($5+3$ など)

先生が説明を
するだけの授業

重要な単元を
教えられていない

楽しい!
わかった!
と感じられる
算数の授業



授業外で
認められる
機会を増やす

成功体験を通して、児童・教員の意欲向上を図る

【低学年(1~3年生)の先生と一緒に】

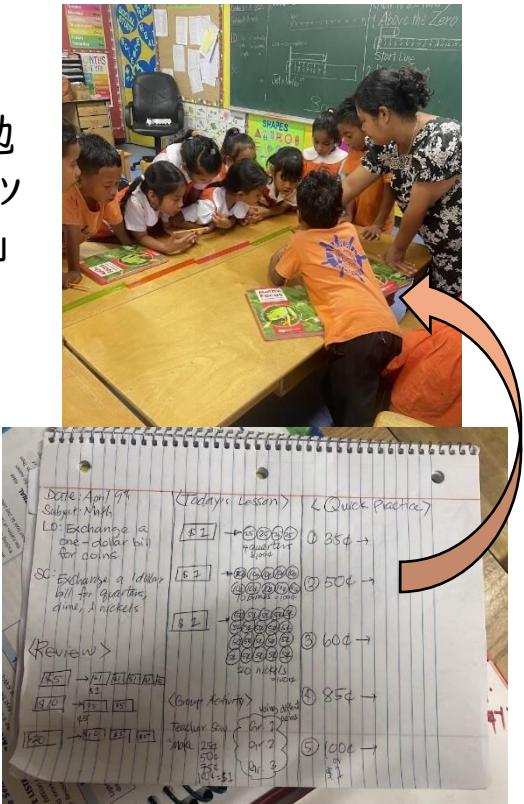
数や足し算、引き算といった基礎的な学習を勉強する低学年の先生達と一緒に「具体物(ブロックや物差しなど)の操作を取り入れた授業計画」を行っています。

その他として、授業の補助、教材教具作成、ワークショップを実施しています。



←先日のワークショップでの様子。算数ゲームを楽しんでいる先生達。

「こんな教具が欲しい」と依頼されることもあります。 →



【「できた・わかった」成功体験の増える活動】

児童の基礎学力定着に向けて、月に2回四則演算のテストを実施しています。テストを作成、実施した後は、先生と一緒に児童の苦手な部分と一緒に考え復習をするようにしています。

毎月、月初めにかけ算カードやチャレンジカード四則演算のテスト(1位から3位)の児童の表彰を行っています。

昨年はテスト、かけ算カードのみ表彰していましたが、今年度は「テスト結果だけでなく、頑張っている全ての児童」にも焦点を置いて活動を行っています。



かけ算カード



Facebookで、児童の頑張りを取り上げることで、家庭からも認められる機会を増やしています。

【活動中の喜び】

学年の始め、10から20までの数字が正しく数えられなかった児童が、休み時間や昼休みに挑戦をして「100」まで数えられるようになったこと。

授業では、見られない児童の姿だったので違う一面が見られてうれしかったです。